

横川っ子だより



ハイジの夕焼け

「アルプスのハイジ」というお話に、こんな場面があります。

ハイジは、アルプスの大自然の中で、おじいさんと2人で暮らしていました。あるとき、ハイジはアルプスの山に沈む夕日が、あまりにも美しいので、「おじいさん、なぜ夕日ってあんなにきれいなのか？」と聞きます。おじいさんは、「人間でも自然でも、お別れするときの言葉が、いちばん美しいんだよ。太陽が山や牧場におやすみを言うときにはとっておきのいちばん美しい光を投げて、お別れのあいさつをするんだよ」と答えます。



「お別れをするときが、いちばん美しい」～とても心に響く言葉です。

2月に入り、いよいよ6年生にとって、横川小学校での生活は残りわずかとなりました。1年生から5年生にとっても、このクラスで仲間と一緒に生活する日はわずかです。お別れというのは悲しくて、さびしくて、どうしようもない気持ちになるものですが、お別れするその人が、これからの人生でがんばれるように、その人を思い出したときに、「自分もがんばろう！」という気持ちになれるように、最後はいちばん美しくあります。



立春が過ぎて、いよいよ春を迎えます。

「お日さまのもとで三人いっしょ」と書いて「春」。3人の味方が皆さんを待っています。3人とは、家族、友達、先生です。6年生は、中学校入学説明会が緊急事態宣言下でなくなってしまいました。中学校への不安や心配は、きっと皆さんがもっていると思いますが大丈夫です。

ピンチのとき、不安なときに使う「大丈夫」、この3文字にも共通するのは「人」です。「大丈夫の3文字には、それぞれ「人」という字が入っています。皆さんに何かあったとき、周りの人は必ず皆さんを支えてくれます。皆さんの味方は必ず3人いる、そう捉えれば、何だか次のステージでもがんばれる気がしてきませんか。

残り少ない学校生活を「有終の美」で飾れるよう、ハイジの夕焼けのように、一人一人が美しく、この一瞬を大切に過ごしていきたいですね。

げんき えがお 「元気いっぱい・笑顔いっぱい・やさしさいっぱい」 こ そだ かていきょういく じょう にゅうがくせつめいかい の子どもが育つ家庭教育5ヶ条 (入学説明会より)

しょうがくせい こうきしんおうせい なん 何でも知りたいし、よりよくなりたいとも思っています。
だからこそ、「感動」や「驚き」、「疑問」といった刺激を与えることが大切です。



「朝、すっきり起きることができますか？」
「朝ご飯に何を食べてきますか？」



ねむい…



パンだけ…

1 はやね はやお あさほん あさ がくりょくこうじょう かぎ 早寝・早起き・朝ご飯・朝うんちは「学力向上」の鍵

- (1) 夜9時から10時までには、寝る習慣をつけましょう。
- (2) きまった時間に寝る・起きるようにしましょう。
- (3) 睡眠と排便が整うと、やる気が持続します。

2 あいさつ へんじ もの はき物そろえは「しつけの3原則」

- (1) 朝、必ず親に挨拶をする子
- (2) 親に呼ばれたら必ず、「ハイ」とはっきり返事のできる子
- (3) はき物を脱いだら、必ずそろえ、席を立ったら必ず椅子を入れる子

3 「自分を信じて、学び続ける子」を育成

- (1) 家庭学習の習慣は、まず一緒に20分間から
- (2) 読書が好きな子に
- (3) 「どうしたら～だろうか？」と子どもに考えさせて



4 お手伝いは「自立」に向けての第一歩

- (1) 「ほめ」の積み重ねで自信が生まれる。
- (2) 「自分は役に立っている」という感覚を身につける。
- (3) 毎日できる簡単なお手伝いを決めて、責任をもって任せる。

5 「体験」したことは忘れない

- (1) 低学年は自然体験、中・高学年は交流体験を、そして、青年期は社会体験を
- (2) テレビ・ゲーム・スマホのやり過ぎは、「ゲーム障がい」になる危険がある。
- (3) 親子で地域行事に参加して、「半田が好き、横川が好き」を育てる。